特別展
国立民族学博物館創設40周年記念
日本文化人類学会50周年記念
「イメージの力 ――国立民族学博物館コレクションにさぐる」
人間の作り出したイメージのはたらきや受けとめられ方に、人類共通の普遍性はあるのでしょうか。観覧者とともにさぐります。
会期　12月9日(火)まで
会場　特別展示館

年末年始展示イベント「ひつじ」
2015年の干支である「ひつじ」をテーマに、みんぱく所蔵の資料や写真を展示し、世界各地の「ひつじ」にかかわる興味深い情報をご紹介します。
会期　12月11日(木)～2015年1月27日(火)
会場　本館ナビひろば

■関連イベント
◆ギャラリートーク
日時　1月10日(土)
11時～11時20分、14時30分～14時50分
解説　野林厚志（本館 教授）
会場　本館ナビひろば
※申込不要、参加無料（要展示観覧券）
◆ワークショップ
「ゴシゴシ☆フェルト――ふわふわ羊毛が大変身?!」
日時　1月12日(月・祝)
11時～12時、13時30分～14時30分、15時～16時
会場　本館第5セミナー室
※当日受付、先着順、参加無料、6歳未満の方は保護者同伴で参加してください。

国際ワークショップ
「人の移動と民族的／地域的共同性の再構築」
グローバル化のなかで、ローカルな共同体の維持や展開を可能とする共同性はいかに再構築されうるのでしょうか。人の移動に着目して考えます。
日時　12月5日(金)、12月6日(土)
10時～17時
会場　本館第4セミナー室（定員86名）
※参加無料、申込不要、使用言語は英語

国立民族学博物館・立命館大学 学術交流協定締結記念
国際シンポジウム
「世界の食文化研究と博物館」
協定締結を記念し、世界の食文化研究と博物館の役割について考えます。
日時　12月6日(土)13時～16時45分
12月7日(日)10時～17時
会場　本館講堂（定員300名）
※参加無料、申込不要
主催　国立民族学博物館、立命館大学
お問い合わせ
food@idc.minpaku.ac.jp

公開シンポジウム
「文化財を伝える――日本の保存技術が古代エジプト文明の秘宝を救う」
エジプト文明の秘宝をどのように修復し、保存するのかについて、文化財保存の専門家と文化財に関心のある方々とともに考えます。
日時　12月14日(日)13時～16時30分
会場　本館講堂（定員300名）
※参加無料、要事前申込
主催　一般社団法人文化財保存修復学会
お問い合わせ
bunkaza@idc.minpaku.ac.jp

公開シンポジウム
「マヤ語からみた言語と思考と脳」
日本語と正反対の語順をもつカクチケル・マヤ語（の話者）を対象に行われた貴重な研究の成果を分かりやすく報告します。
日時　12月21日(日)10時～17時20分
会場　本館第5セミナー室（定員80名）
※参加無料、申込不要
お問い合わせ
yasugi@idc.minpaku.ac.jp

総合研究大学院大学 学術交流フォーラム関連事業
「石見大元神楽」
島根県山間部で伝承されてきた大元神楽の公演を通して、伝統文化の継承について大学院生・研究者・神楽の担い手と共に考えます。
日時　12月21日(日)13時～16時40分
会場　本館講堂（定員450名）
※参加無料、申込不要、先着順
主催　総合研究大学院大学　文化科学研究科
お問い合わせ
総合研究大学院大学　学務課基盤総括事務係
046・858・1583

研究公演
「じゃんがら念仏踊りみんぱく公演」
じゃんがら（福島県に伝わる独特の念仏踊り）の披露のほか座談会も行い、復興に向けた人びとの思いについて考えます。
日時　1月24日(土)13時30分～15時30分
会場　本館講堂（定員450名）
※参加無料（要展示観覧券）、要事前申込、申込締切1月8日（木）必着

国際フォーラム
「中国地域の文化遺産――人類学の視点から」
中国地域における有形・無形の文化遺産に焦点を当て、遺産認定が人々の生活にもたらした影響を考えます。
日時　1月24日(土)10時～16時30分
1月25日(日)10時～16時
会場　本館第5セミナー室
※参加無料、申込不要
お問い合わせ
heritage@idc.minpaku.ac.jp

公開フォーラム
「古代文明の生成過程――エジプトとアンデス」
考古学者を招いて、最新の調査成果とともに、両古代文明の特性について、討論します。
日時　1月25日(日)13時～16時
会場　JPタワーホール&カンファレンスホール1（東京）
※参加無料、申込不要、先着順
お問い合わせ
sekiken@idc.minpaku.ac.jp

みんぱく創設40周年記念 カレッジシアター
「地球探究紀行」
10月からプログラムをさらに充実、参加しやすいスタイルで後期講座がスタートしました。
時間　13時～14時30分
会場　あべのハルカス近鉄本店「スペース9」
※要事前申込（参加状況により当日受付あり）、参加費各回1000円
主催　産経新聞社
特別協力　国立民族学博物館、千里文化財団
12月3日(水)
巨大な屋根の謎
――インドネシアの家屋と集落
講師　佐藤浩司（本館 准教授）
12月10日(水)
江戸の探検家、間宮林蔵と北方民族
講師　佐々木史郎（本館 教授）
12月17日(水)
現代中国の農村のくらし
――ある家族の幸せのかたち
講師　韓敏（本館 教授）
お申込み・お問い合わせ
ウェーブ産経カレッジシアター係
06・6633・9087
※各イベントについてくわしくはみんぱくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時（土日祝を除く）です。

みんぱくゼミナール
時間　13時30分～15時（13時開場）
会場　本館講堂
定員　450名（当日先着順）
参加費　無料（展示をご覧になる方は観覧料が必要です）

第439回　12月20日(土)
グローバル化の中の財団
講師　出口正之（本館 教授）

グッゲンハイム美術館ビルバオ財団

〝財団〟というものは、聞いたことがあるようで、なかなかイメージがつかみにくいものです。海外でいうと、ハーバード大学もニューヨーク自然史博物館も財団です。スポーツ団体からロックフェラー財団まで、現在の財団にまつわる話をいたします。

みんぱくウィークエンド・サロン
研究者と話そう
時間　14時30分～15時30分
※申込不要、参加無料（要展示観覧券）
本館の研究者が来館された皆様の前に登場します！「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。

12月7日(日)　本館ナビひろば
邪視をはねかえす力
話者　上羽陽子（本館 准教授）
12月14日(日)　本館第3セミナー室
男の世界と女の世界――沖縄離島社会の現在
話者　加賀谷真梨（本館 機関研究員）
12月21日(日)　東南アジア横休憩所
エボラ出血熱と「文化」
話者　浜田明範（本館 機関研究員）

●展示ガイド更新のお知らせ
2014年3月に新しくなった東アジア展示の展示ガイド更新版が完成しました。展示ガイド（バインダー形式）をお持ちの方には、無料で差し替え分をお渡しいたします。ミュージアム・ショップにお申し出ください。

●南アジア・東南アジア展示リニューアルのお知らせ
展示リニューアル工事のため、2015年3月18日(水)まで南アジア・東南アジア展示場を閉鎖しています。

●休館日、無料観覧日のお知らせ
年末年始は12月28日(日)～1月4日(日)まで休館します。1月12日(月・祝)成人の日は本館展示を無料で観覧いただけます。ただし自然文化園（有料区域）を通行される場合、入園料が必要です。

刊行物紹介

■笹原亮二、西岡陽子、福原敏男 著
『ハレのかたち――造り物の歴史と民俗』
岩田書院　1,500円（税抜）

祭礼など、ハレの際に造られる飾りもの＝「造り物」。その歴史と民俗の諸相。2013年8月に国立民族学博物館で開催されたゼミナール「つくりもの――ハレのかたち・おもしろいかたち」の報告を活字化。「造り物の諸相」「造り物は現地で作られる－平田の一式飾を巡って－」などを収録する。

■飯田 卓 著
『身をもって知る技法――マダガスカルの漁師に学ぶ（フィールドワーク選書）』　臨川書店　2,000円（税抜）

一本の論文を頼りにして辿りついた先は、インド洋航路の結節点・マダガスカル。海の遊牧民「ヴェズ」の暮らしに身を置く中で、次第に浮かび上がる人と海との関係性とは。小さな漁村で出会った漁師とともに、フィールドワークのノウハウを身をもって学ぶ。

友の会
国立民族学博物館友の会　電話 06-6877-8893（9時～17時、土日祝を除く）　FAX 06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/　e-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会講演会（大阪）
会場　本館第5セミナー室
定員　96名（当日先着順、会員証提示）

第438回　2015年1月10日(土)14時～15時
グローバル時代の「知的生産の技術」
――フォーラム型博情館の可能性
講師　久保正敏（本館 教授）
梅棹忠夫初代館長は、博物館を博情館と位置づけ、モノ、映像や音響資料の収集とそれらの情報化に力を注ぎました。また、利用者自らが情報を選択・再構築し、自ら「知的生産」を実践する場として、民博が活用されることを期待しました。グローバルな情報収集と利用が日常となった現代は、博物館における資料や情報の集積・利用や公開の手法において、多様な異文化への配慮が特に必要です。「フォーラム型」の情報集積と公開に新たな可能性を見出す、これからの「知的生産の技術」について考えます。

第439回　2015年2月7日(土)14時～15時
都市の婚礼、山村の婚礼
――ネパール社会の現在（いま）を結婚式に探る
講師　南 真木人（本館 准教授）
※いずれも、講演会終了後、講師をかこんで1時間程度の懇談会をおこないます。

友の会機関誌『季刊民族学』150号刊行記念展示
『季刊民族学』の軌跡 開催中！
会期　12月9日（火）まで
会場　本館1Fエントランスホール
創刊号から最新号までを展示。実際に手にとってご覧いただけるほか、150冊分の表紙を一望できるめったにない機会です。最新号の特集は「民博の礎」。フィールドワークと収集をとおして、みんぱくの40年を振り返ります。

第85回民族学研修の旅
手仕事への回帰
――カンボジア、東北タイの機織りの現場をめぐる
2015年2月1日(日)～2月9日(月)
訪問先：カンボジア、タイ東北部
※本誌表紙ウラの案内もご覧ください。

※国立民族学博物館ミュージアム・ショップの記事は、表紙ウラに移りました。